

江戸川区消防団運営委員会議事録 要約

開催日時	令和6年10月22日（火曜日） 開会：10時12分 ～ 閉会：11時09分
開催場所	江戸川区役所 第一、第二、第三委員会室
諮問事項	「変化する社会情勢に適用し、特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか」
出席者 (18名)	委員長 齊藤 猛 委員 宇田川 聡史（都議会議員） 田の上 いくこ（都議会議員） 小野瀬 二郎（江戸川防火防災協会会長） 千倉 嘉一（葛西防火防災協会会長） 松下 幸博（小岩防火防災協会会長） 中野 ヘンリ（区議会議員） 小林 智夫（区議会議員） 金井 高志（区議会議員） 太田 彩花（区議会議員） 佐野 朋子（区議会議員） 間宮 由美（区議会議員） 川部 浩史（江戸川消防署長） 高橋 守忠（葛西消防署長） 早坂 誠（小岩消防署長） 渡邊 登（江戸川消防団長） 関口 政男（葛西消防団長） 佐藤 誠（小岩消防団長）
傍聴者数	なし
配付資料	審議資料（別紙のとおり）
次第	1 開会 2 委員長挨拶 3 新委員の紹介 4 審議予定 5 審議事項 6 閉会
審議内容	5 審議事項 諮問について 「変化する社会情勢に適用し、特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか」 事務局 ○審議資料についての説明 ○区内全団員を対象とした意向調査の結果説明

委 員

ポンプ操法大会については負担に感じるという結果が出ているという点を重く受け止めてほしい。実践的な消防訓練や、基礎的な消火訓練、救急救命訓練については逆に良い評価も出ている。こちらに比重を置くべきというのを強く求めたいと思う。

消防団の方々の昇進方法を教えていただきたい。

事務局

昇進方法が決まりとしてあるわけではない。各分団長から活動実績を踏まえて消防団長へ推薦があり、消防団長が決定しているという実態である。

委 員

アンケートを実際にとってみてどのような感想をもったか。

事務局

ボリュームのあるアンケートであったが、回答率は 59%あった。自由記載欄にも多くの回答をいただき真摯に意向調査に回答いただきありがたい気持ちである。

委 員

今回のアンケートについて、ひとつ提案がある。団員は自分で書いたことしか分からないので他の団員の皆さまの声とそれに対する消防署の考えを示せればと思う。

事務局

今回の消防団運営委員会の答申案作成にあたりアンケート調査を実施した内容を検討している。答申案をホームページで提示するが、アンケート内容を含めたものが江戸川区の答申書として公開される予定である区内三団の皆さまもこのアンケートを踏まえた答申書を見れる状態になる。

委 員

最新の技術などを考慮した環境活動の改善方策についても検討していただきたい。

事務局

色々な資機材の整備について、各団から意見をいただいている。意見いただいたものについては時間をかけず対処できるような体制をとっている。今後も団員からの意見にすぐに応じられるような体制をとっていく。

委 員

家族の理解を得ることが消防団員の活動に重要ということに関して、家族イベントに関してどのようなことをやっているか聞きたい。また資格取得の講座について費用負担をしているのかそのあたりを聞きたい。

事務局

三大行事である、団始式、操法大会、団点検に家族席を設けて実施している。また小岩消防団では家族意見交換会として、家族を含めた懇親会を分団長以上で実施している。葛西消防団では、消防団ファミリーデーという、はしご車の体験、放水体験、ポンプ車の体験乗車といった消防団の家族ならではの体験ができるようなものを計画している。

次に資格取得の件であるが、研修として実施しているものについては参加された方の資格取得については無料となっている。

委 員

区内にインド人の方々が多く居住している。消防団の周知のために英語版小冊子を作るなどどうか。ただ、今デジタル化になっているので、ホームページに英語版で消防団の紹介をする。各団というよりは江戸川区全体のホームページか何かで紹介をするところがあればというのが意見としてある。

委 員

消防団員として不安に思っていることの一番多い意見として、大規模災害時の活動というのが挙げられている。大規模災害に対応できるような研修は何があるか。女性団員対象ということで、どのような研修があるか。

事務局

大規模災害に対応するような訓練ができる研修については、別添3のところに消防団の教育訓練についての一覧を掲載している。この中で指揮者、活動を指揮するような立場の団員の方々に対しては、幹部研修という形で指揮幹部研修というのがあり、対象が分団長、副分団長となっている。こちらは大規模災害時における指揮者としての職責を自覚し、指揮能力の向上を図るという内容の訓練になっており、実際の災害活動の時に指揮を執れるような実践的な訓練ができる研修となっている。

女性団員の方々に対する研修としては、今既存のものとして女性消防団員研修というものと女性消防団員セミナーというものがある。これは女性消防団の活動について、例えば消防団の現役の女性副団長の方の講義を受けたり、女性の方がより活躍できるような応急救護活動の要領を学んだり、女性に特化した消防活動の実技を開催している。セミナーの方では、実際に消防団募集リーフレットを皆さんで作成するようなワークショップ、女性消防団員の定着のヒント集を作成するといったワークショップを実施するなど、女性向けのセミナーを行っている。

委員

操法大会について団結力を向上するという意見も 41%、訓練の負担が大きいという意見も 46%と多かった。やはり大会を見ていると感動するが 4 割以上が負担を感じるということは小さな数字ではないと思う。その負担をなくしたいということ、反映する形で改善をしていただけたらと思う。